

紹介！ こんなひと工夫

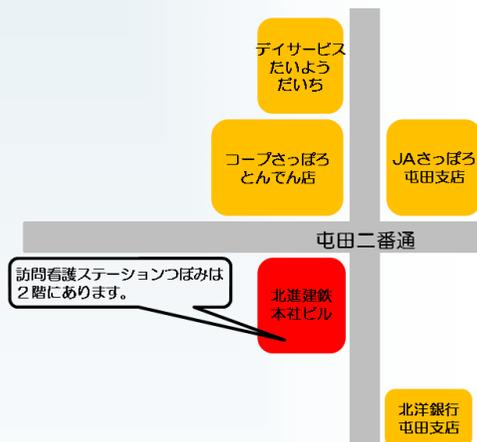
写真は、尿をためておくビニールのパックに手作りのカバーをつけたものです。外出時にパックやチューブが気になっていた
ので、人目を気にせず、ご家族と外出できるようにスタッフが作りました。



スタッフのつぶやき

先日、研修会に参加した時に、素敵な言葉を聞きました。「出会った時が運命、覚悟をもって最後までお付き合いさせていただきます。」鹿追にある訪問看護ステーションかしわのもりの松山所長の言葉です。

私たちの出会いも運命です。皆様の生活にじっくり、ゆっくりお付き合いさせて下さい。



株式会社 ハナミズキ

訪問看護ステーションつぼみ

〒002-0854

札幌市北区屯田4条7丁目7-30

TEL:011-769-0151

FAX:011-769-0591

E-mail: tsubomi@white-love.co.jp

HP: <http://www.white-love.co.jp/>

ハナミズキ

愛するあなたへ



2013年11月



インフルエンザの知識

インフルエンザにかかると39度以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身症状や喉の痛み、鼻汁などの症状もみられ、気管支炎、肺炎などを併発し、重症化することが多いのが特徴です。



インフルエンザの予防

- ・ワクチン接種
- ・手洗いとうがい
- ・お部屋の換気
- ・お部屋の加湿
(50-70%程度)
- ・適度な運動
- ・バランスの良いお食事
- ・十分な睡眠と適度な水分補給



インフルエンザ、風邪かなと思ったら
早めに病院を受診しましょう！

「最高だ！ 空気が違う」

今年7月。今年で99歳を迎えた齋藤清一さんが、念願であった外出をすることができました。

昔から温泉が大好きで日本全国を巡っていましたが、昨年の脳梗塞後、少しずつ一人で動くことができなくなって、現在では寝たきりとなってしまいました。大好きな温泉巡りも散歩も難しくなってしまった齋藤さんに、何とか日々の生活を楽しんでほしいというご家族の強い希望があって、訪問リハビリを開始しました。

ベッド上での生活のため関節が硬く、動かすと痛みがありました。まずは車椅子に座れる身体づくりを目標にリハビリを行ったところ、少しずつ痛みがなくなり、身体を動かされるようになってきました。



体調や天気に加えて、外に出るには2階から階段を降りなければならぬので人手など、外出するための課題はいくつもありました。痛み止めを飲みながらのリハビリと看護を経て、ケアマネジャーさんの協力もあり、ついに7月に外出が決行できました。雲ひとつ無い、とても天気のいい日でした。

ずっと室内で過ごされていたこともあって、ご本人は「最高だ、空気が違う」と目を輝かせて大変喜ばれました。ご本人の強い意志とご家族の熱い思いがあったからこそ、実現できた外出でした。

その後、秋に2度目の外出ができ、現在もまた外に出たいと意欲的に生活をされています。